

床数の怪と印旛山武医療圏の分割の必要性および東金病院充実問題の言行不一致等
 ⑤東金病院に見る県医療行政の奇怪、対照的な埼玉県の努力をどう見る。

⑥有識者意見書への対応は。
 ⑦本計画を進めるなかでの二次合併の対応。さらに、今その方向性で二つに一つの岐路に立つの主意は。

A まず全体的にみて、規約改正も含め組合での病院問題検討に違和感を持つ。現場から遠く離れた机上プランに混迷の大きな根っこがある。また、座長は場所の選定等に非常な危惧を持ち、このまま進んだらとんでもないことになると考えたようだ。また、予算承認即賛成ではないとの条件付き提案です。シミュレーションも現場から遠い所の話で、不確定要素大である。方向性に関する態度は選挙公約もあり、終始一貫、センターは市民に近いところが必須で、今の場所では成東を守る立場に変わりません。

多部 昭二議員

・税の有効利用について
Q 国・地方が税収不足のために町村合併に迫られたという考えで、質問します。

①特別職の報酬は安倍総理並みに三割カットを考えてもよいのでは。

先の議会解散請求の署名運動は失敗だったと思うが、市の生涯学習課でも実施しない自分の頭で考える機会を市民に与えたという点で成功と思う。

議員報酬を減らすために、頭数を減らすのも一つの方法だが、報酬の引き下げも検討しては。

②給食費・税金の未納滞納について、学校給食の意味・給食経費の出所についてきちんと説明しているか。

議員のなかに市税の滞納者はいるか。いる・いないの答えは、個人情報保護法で保護されるべき情報ではありません。

③旧山武町で購入の木材粉砕機を無料で、ある会社に貸しているが、無料にする

理由・メリットは。

A ①自分のことは自分で考えることにはしていない。報酬審議会にかけられる問題。
 ②成果の得られるような改善策を考えていきたい。

理解を得るのが基本。新年度に向けてPTAの方々とも基本的な方針を固めて説明していきたい。

③森林組合等で検討したなかでやってきている。試作期間中は、無料期間を設けていきたい。3月31日まで無料にしたい。

山崎喜世子議員

・地震対策について
 ・子育て支援について

Q ①公共建築物の安全性の確保はできていますか。

②民間の建築物の耐震診断および改修についての対策は。

③悪質リフォーム詐欺の被害を防ぐ対策として、相談窓口の設置をするべきだと思いますがいかがでしょうか。

④放課後や週末等に、子どもたちが安心して学習等ができる「放課後子ども教室」(全児童対象)の推進への

取り組みはどのようになっていますか。

⑤母子家庭の就労支援対策は、どのようになっていますか。

A ①改正耐震改修促進法により耐震調査の範囲が広がっており、速やかに調査し対応を考える。

②専門的な職員が育っていない等により、行政としては積極的に係わっていない状況です。19年4月より都市整備課を相談窓口とします。

③4月より都市整備課を窓口とします。地震対策も含め、広報誌などに掲載し周知していきたい。

④現在市の公聴会で、推進に向けて放課後子どもプランの趣旨説明は終了しています。今後本市の現状を鑑み実施を検討していきます。

⑤現在市では、母子自立支援員1人、家庭相談員2人を配置し支援を推進していきます。ご提案の「自立支援教育訓練給付金事業」等の実施について、たくさんの方に利用していただくことは必要だと思いますので、

促進を図れるか検討してまいります。

市川 陽子議員

・福祉対策について
 ・平成19年度予算編成の取り組みの一環として

Q ①県の学童クラブ案では、対象児童を6年生までと障害者の優先受け入れを明記し、適正規模は上限40人で条件整備に努めるとありますが、市の今後の進捗状況と指導員運営の統一化を図るガイドラインの作成について

②幼保一元化のその後の進捗状況と私立幼稚園・保育所の方向性について

③障害者自立支援法の学童保育およびその後の進捗状況について

④合併後の全各種団体事業の補助金の見直しについてと、市の今後の方向性をお聞かせください。

A ①9月から全指導員および補助員の打ち合わせを毎月1回実施しています。そして、ガイドラインは今年度中に作成します。